

箱根ラリック美術館

「ラリック×ジュエリーデザインアワード2012 特別展示企画」

2012.8

ジュエリーの巨匠ルネ・ラリックと日本の新鋭ジュエリストとの美の響演、より充実して開催

箱根ラリック美術館では、「日本のジュエリーの最高峰を求めて」をテーマに、一般社団法人日本ジュエリー協会(JJA)が毎年開催している“JJAジュエリーデザインアワード”、2012年の受賞作品24作品、48点を10月13日(土)より11月25日(日)まで当館企画展示室にて展示いたします。大好評だった昨年に引き続き、今回で3回目を迎えます。ルネ・ラリックの芸術性あふれた空間の中で、現代のジュエリストの作品がラリックの作品と響演します。

ルネ・ラリックは、ガラス工芸の巨匠として知られていますが、当初はジュエリー作家として活躍しました。ダイヤモンドやルビーなどの貴石だけではなく半貴石やバロックパール、七宝などを用いて、斬新で詩的な着想で宝飾品をデザイン。モダン・ジュエリーの先駆者とも言われています。

受賞作品が展示される期間、フランス宝飾の頂点を極めたラリックのジュエリー作品が登場します。なかでもブローチ「アネモネ」は、ジュエリーの主役である花卉や葉にはガラスや七宝を施し、アクセントとして貴石を配置した、ラリックならではの革新的な作品です。また、同じくガラスと貴石を用い、当時流行したアール・ヌーヴォー様式が色濃く感じられるティアラ「サファイアのヘッドバンドの女」も展示されます。

さらに今年は、専属学芸員が案内するミュージアムツアーと、ジュエリーにより親しみを持ってもらうためのセミナーを企画。自然とアートが響きあう心豊かになれる場所で、充実したひと時を過ごすことができます。

ジャポニズムの影響を受け、独自の感性やアイデアで宝飾を芸術の域まで高め、新しい時代を築いたルネ・ラリック。日本固有の美しい文化と伝統を背景に、未来を築きゆく日本の新鋭ジュエリスト。箱根ラリック美術館で、時代を超えた美のコラボレーションがお楽しみいただけます。

期 間 2012年10月13日(土)～11月25日(日)
 会 場 箱根ラリック美術館
 出展作品 ルネ・ラリックの作品
 ブローチ「アネモネ」
 ティアラ「サファイアのヘッドバンドの女」 など
 JJAジュエリーデザインアワード2012受賞作品
 24作品、48点

主 催 一般社団法人日本ジュエリー協会
 箱根ラリック美術館

昨年(2011年)の受賞作品



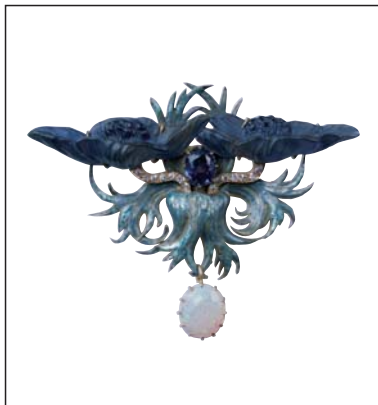
日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞



厚生労働大臣賞

東京都知事賞
プラチナ・ギルド・インターナショナル賞

日本ジュエリー協会会長賞

ルネ・ラリック作
ブローチ「アネモネ」 1901-1903年頃ルネ・ラリック作
ティアラ「サファイアのヘッドバンドの女」 1897-1900年頃

LALIQUE MUSEUM, HAKONE

箱根ラリック美術館

紅葉穴場スポット！ 箱根ラリック美術館の見頃は10月下旬から

2012.8

箱根・仙石原にある「箱根ラリック美術館」の庭園は、例年10月下旬から11月中旬まで紅葉が見頃を迎えます。

一昨年より美術館の庭園、ショップ、レストランのみ利用の場合は、入館料なく入場できるようになり、気軽に庭園内を楽しめるようになりました。

ラリックが愛し、多くの作品にモチーフとして取り入れた“自然”。この自然あふれた約4,000坪の広大な敷地には、高さ20メートル以上もあるケヤキやイチョウ、モミジなどの広葉樹の大木が多数あり、毎年すばらしい紅葉を見ることができます。秋晴れの日には、カフェレストラン「LYS」のテラス席で、庭園全体が黄色や赤に染まる風景を眺めながら、秋のスイーツやランチを味わえます。

敷地内の紅葉写真を
いろいろ取り揃えています。

秋限定のスイーツが登場

カフェレストラン「LYS」に秋の限定スイーツが登場します。箱根の美術館やホテル、和・洋の飲食店などが期間限定オリジナルスイーツを提供するキャンペーン「箱根スイーツコレクション2012秋」に参加するスイーツ“スヴニール”。フランス語で「思い出」の意味を持つ名前の通り、主役は小さい頃に食べたような懐かしい甘みのキャロットケーキです。小田原産のニンジンをつぶり練り込んで焼き上げたパウンド生地のもちもちした食感と、ほうれん草のマカロンラスクがマッチした、野菜を使った甘くてヘルシーな一品。小田原産の栗のハチミツを使ったクリームの上には、ニンジンでかたどったイチョウやモミジをあしらひ、季節感あふれるスイーツに仕上がっています。

※提供期間：2012年9月1日(土)～11月11日(日)

足をのばして仙石原の名所も散策

美術館から徒歩圏内で、箱根・仙石原の秋の名所を散策することができます。美術館から徒歩約5分の「長安寺」は箱根有数の紅葉スポットの1つ。境内には個性豊かな「五百羅漢」が点在し、艶やかな紅葉との風景を楽しむことができます。またかながわの景勝50選のひとつである、仙石原の「ススキの原」では、黄金色の絨毯を敷きつめたような大自然の光景を満喫。

美術館の紅葉だけでなく近隣スポットでも、深まる秋を感じることができます。



庭園の紅葉



レストランテラス席からの眺め



秋限定スイーツ「スヴニール」



仙石原の「ススキの原」



長安寺の紅葉





施設概要

施設名称	箱根ラリック美術館 (LALIQUE MUSEUM, HAKONE)
所在地	〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1 TEL : 0460-84-2255 FAX : 0460-84-2271 URL : www.lalique-museum.com
開館日	2005年3月19日 (土)
営業時間	午前9時～午後5時 (入館は午後4時半まで)
営業日	年中無休 (展示替のため臨時休館あり)
美術館入館料	大人 1,500円 高校生、大学生、シニア (65歳以上) 1,300円 小学生、中学生 800円 ※レストラン、ショップ、庭園の入場は無料です
施設内容	敷地総面積 13,004.50㎡ 美術館棟 2,601.30㎡ ミュージアム・ゲート 70.78㎡ 特別展示 オリент急行サロンカー カフェレストラン・LYS 1,083.45㎡ 店内100席 テラス100席 ショップ・パッサージュ 827.93㎡ 庭園 (池、小川、蝶の森)
専用駐車場	第一駐車場 (100台) 1日300円 第二駐車場 (100台) 無料
アクセス	電車・バスをご利用の場合 ■箱根登山鉄道「箱根湯本駅」より、箱根登山バス「湖尻・桃源台」行きにて約30分 「仙石案内所前」下車すぐ ■小田急箱根高速バス「新宿駅」より約120分「箱根仙石案内所」下車すぐ ■箱根施設めぐりバス「箱根ラリック美術館」下車すぐ ■小田急箱根高速バス羽田線「羽田空港」より「横浜駅東口バスターミナル (そごう横浜店)」 「御殿場駅」経由約150～165分 「箱根仙石案内所」下車すぐ 車をご利用の場合 ■東名御殿場I.C.より乙女峠経由、仙石原まで約20分
設計・施工	鹿島建設株式会社、株式会社丹青社
事業主	株式会社ル・ミューゼハタ
本社所在地	東京都中央区銀座4丁目4番5号
代表者	代表取締役 旗 功泰

本件及び取材等に関するお問い合わせ先 箱根ラリック美術館PR担当:株式会社小田急エージェンシー tel :03-3344-5988
貴誌(紙)・貴番組にて掲載いただく際の読者からのお問い合わせ先 箱根ラリック美術館 tel :0460-84-2255



LALIQUE MUSEUM, HAKONE